

## 2019年度（令和元年度）事業報告書

特定非営利活動法人アクティブ・ラーニング・アソシエーション

### 1 事業全体の総括

2019年度の事業収益は前年度に比べると2倍近い収益をあげることができた。それは「人材育成事業」において、エマジエネティックス用いた企業研修が大きく伸びたことが主な原因である。これまでに研修実績のあった企業から紹介が増えたことにより業績アップすることができた。しかし、年度末のコロナ禍により集合研修の実施に制限がかかったことから、先行きは不透明といえるので今後はWEBからの動画発信などを含めたコンテンツ開発を急ぐ必要がある。

初等・中等教育事業については、ほぼ横ばいという結果となった。新たなコンテンツ開発は随時行っていたが学校現場への広報が不足しており周知されていないことは課題である。こちらも今後は動画配信などの活用が必要と思われる。

以下事業毎に今期の成果を報告する。

#### ◆人材育成事業

企業に対するエマジエネティックスを活用した研修の収益は順調にあがったが、初等・中等教育での関連事業が減少した。今後は4 Shapes®を活用した研修も並行し、企業だけでなく教育現場にも更なる提案をしていきたいと思う。

#### ◆アクティブラーニングの普及、推進事業

(ア)高校生を対象にアクティブ・ラーニング形式でのセミナーコンテンツの開発

コミュニケーション向上やライフプランを考えるプログラムについては、新規プログラムの開発ならびに改善が行えた。

ノートテイキングに関するプログラムやキャリアデザインの授業を開発し  
高等学校を中心に授業を行った。

(イ)高校生を対象とした進路選択講演（進学、就職）の実施とプログラム開発

これまで単発でおこなっていたカリキュラムを高校生活の3年間を通した年間計画として再編した。

(ウ)大学生を対象としたキャリア教育プログラムの開発

大学生を対象としたプログラムの実施には至らなかったが、大学生向けプログラムから、新たな高校生向けのプログラムの開発が進んだ。

#### ◆教育技術向上のための研究事業

8月に神戸で開催されたコンピュータ利用教育学会のPCカンファレンスに参加し、共同執筆者である早稲田大学高等学院の教員が論文の口頭発表を行った。

#### ◆ふれあい事業

今年度は特に実施せず、今後の事業の進め方については、来年度検討したいと思っている。

## 2 事業実施状況

今年度行った主な活動

### 1) 人材育成研修

川崎重工業株式会社、 グロウ株式会社、 株式会社フォーシーカンパニー  
株式会社アイ・キューブ、 ダイゴ株式会社 三菱電機株式会社

### 2) 初等・中等教育の場での授業実践、講演会等

4/23 育英高等学校

4/24 和歌山県立和歌山北高校

5/11 兵庫県立神崎高校

5/13 高校生対象キャリア講演

5/15 兵庫県立三木北高校

5/21 英明高等学校

5/30 神戸商業高等学校

6/05 兵庫県立姫路別所高校

6/12 和歌山県立和歌山商業高校

6/13 和歌山県立紀央館高校、和歌山県立貴志川高校

6/21 神戸野田高校

07/09 兵庫県立太子高校

7/12 兵庫県立明石西高校

7/13 神戸野田高校

7/23 神戸商業高等学校

7/26 大阪府立大阪農芸高校

8/29 大阪府立柴島高校

8/30 大阪府立柴島高校

9/06 兵庫県立上郡高校

9/27 星翔高校

10/02 大阪府立今宮工科高校

10/09 和歌山県立紀央館高校

10/15 和歌山県立神島高校

10/16 和歌山県立神島高校

10/18 福知山成美高校

10/19 兵庫県立香寺高校

10/30 徳島県立池田高等学校辻校

11/14 姫路市立飾磨・琴丘・姫路高校

12/17 和歌山県立和歌山工業高校

12/23 兵庫県立龍野北高校

01/22 兵庫県立鈴蘭台高校

02/06 兵庫県立芦屋高等学校

### 3) 発表論文

ノートテイキングにおける特徴点の抽出

- 思考特性とノートテイキングの関係 -